

協働のまちづくりと ファシリティ・マネジメント

～都市の再生とリノベーション

三鷹市の取り組み～

三鷹市長 清原慶子

三鷹市の概要

面積：16.5km²

人口：179,578人

世帯：87,365世帯

(2011.1.1現在)



玉川上水 (左) と
井の頭恩賜公園 (右)



市制施行 昭和25年(1950年) 11月3日

☆1973年：日本初公共下水道整備100%

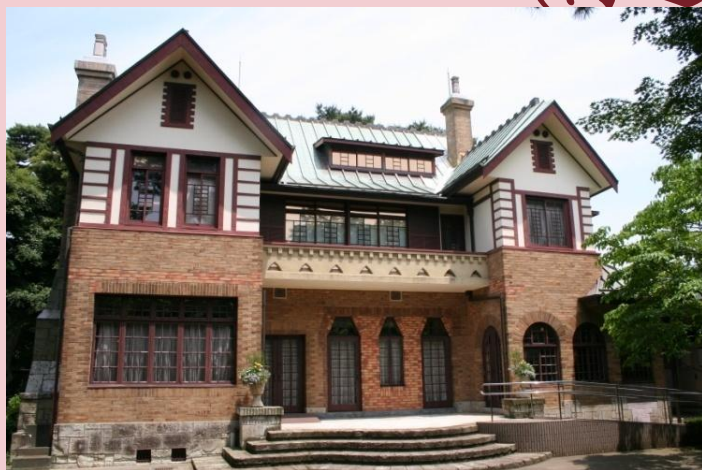
☆1956年：日本初0歳児保育開始

☆1973年：日本初住民協議会による

コミュニティセンター運営

☆1984年：日本初光ファイバー網によるINS

(高速デジタルネットワークサービス実験)



山本有三記念館



三鷹市役所本庁舎 (中庭を芝生化)

☆1997年 SOHO CITYみたか構想

☆2005年世界レポート連合より協働を評価され
「インテリジェント・コミュニティ・オブ・ザ・イヤー」受賞

☆2006年 コミュニティ・スクール型の小中一貫教育開始



三鷹の森ジブリ美術館



三鷹市役所本庁舎（西壁に太陽光発電パネル）

三鷹市が目指してきた

「人間の明日へのまち」



市民参加と協働による

高環境・高福祉のまちづくり



「創造的自治体経営」の進化

平成22（2010）年度施政方針

市制施行60周年を迎え
「都市再生」と
「コミュニティ創生」を目指して
持続可能な
高環境・高福祉のまちづくり
の推進を

三鷹市と「ファシリティ・マネジメント」の
必要性との出逢いは
突然で、しかも偶然のようであって
実は「必然的」なもの
成熟した都市である三鷹市にとって
不可避的な政策課題であり
ふとした気づきを直視して
無意識の経常業務に留めるのではなく
意識的に重点施策としていく方向性を決断

決断

計画づくり

組織づくり

そして、実行!!!

市長の決断



支える副市長・教育長



都市再生推進本部



市民と協働を進める組織の強み

第3次三鷹市基本計画（第2次改定）

七つの最重点プロジェクト <2007>

- 1 安全安心のまちづくりプロジェクト
- 2 地域ケア推進プロジェクト
- 3 都市の更新・再生プロジェクト**
- 4 バリアフリーのまちづくりプロジェクト
- 5 子ども・子育て支援プロジェクト
- 6 協働のまちづくりプロジェクト
- 7 ユビキタス・コミュニティ推進プロジェクト

* 公共施設 600棟超

* 延床面積 30万 m²超

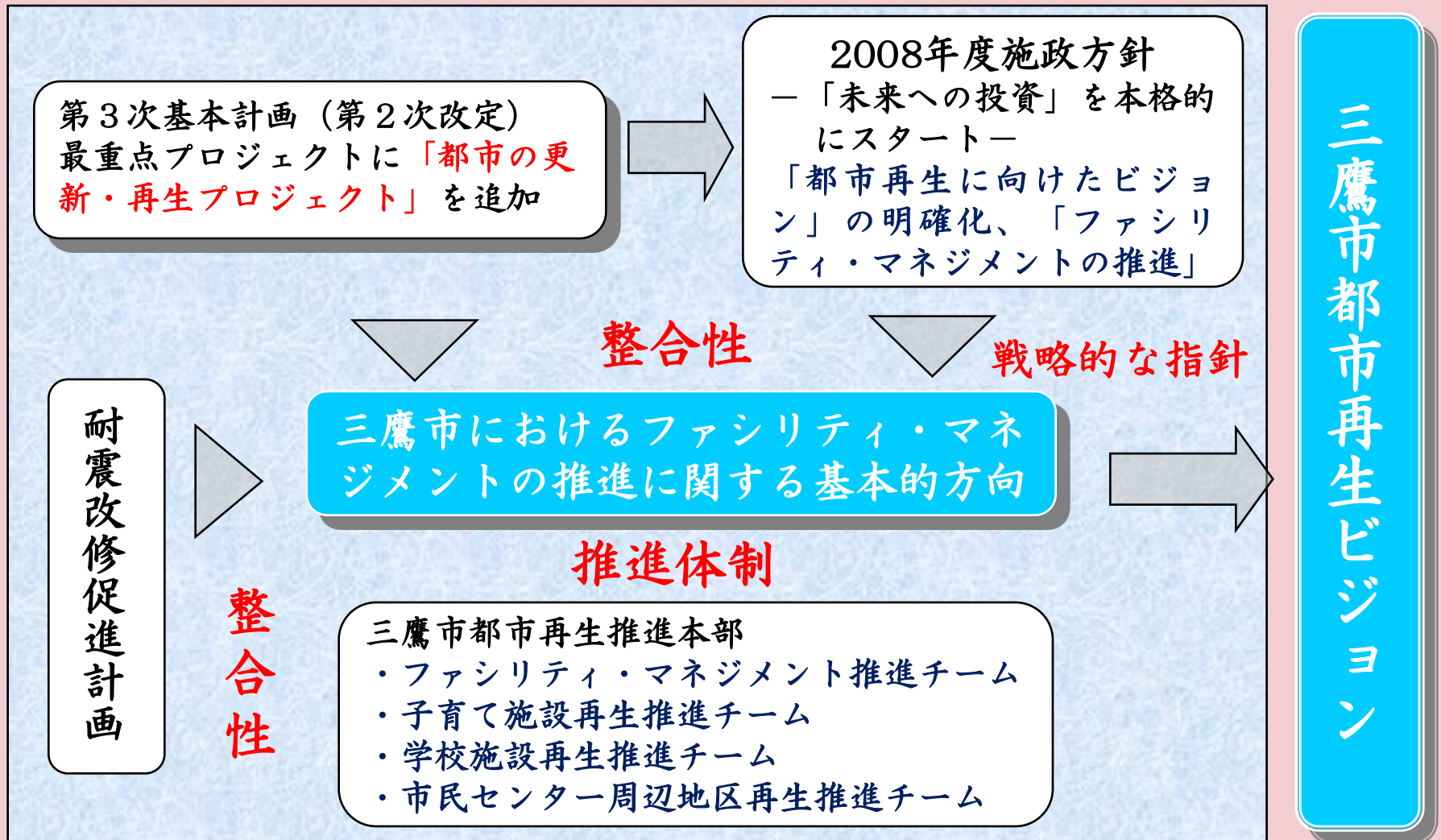
☆施設の安全性確保、市民サービスの提供は、市の重要な責務

⇒2007年第3次三鷹市基本計画（第2次改定）の最重点プロジェクトに
「都市の更新・再生プロジェクト」
を追加

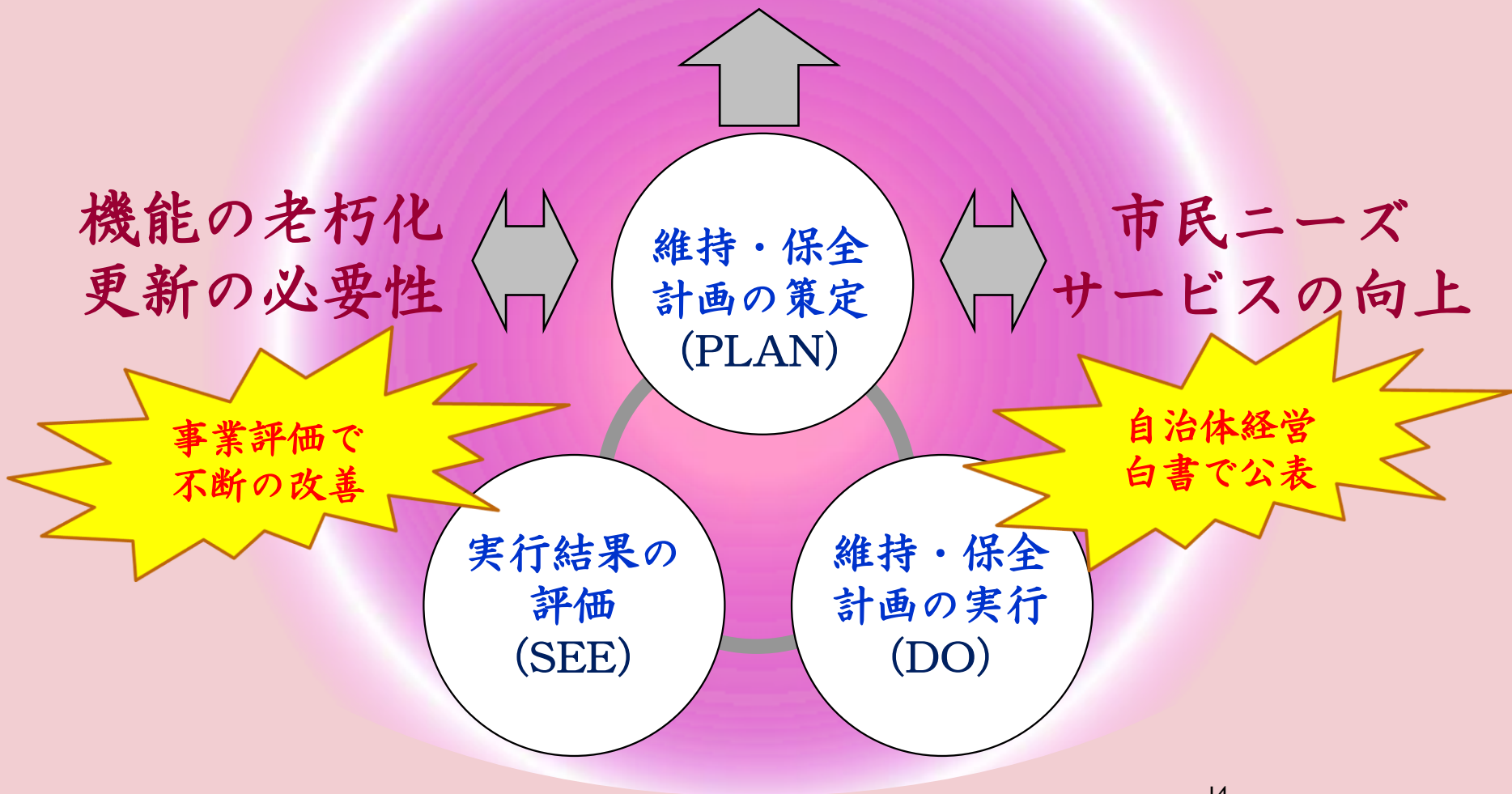
三鷹市のFMの本格的スタート！

- ☆2008年度を「輝くまち三鷹」を目指し、
「未来への投資」を本格的にスタートする
年度と位置付け
- ☆耐震診断結果等を踏まえて、保育園、
小学校の建替え等に着手
- ☆庁内に「公共施設課」「都市再生推進本部」
を設置し組織体制の整備
- ☆市民参加を進め、機動的に対応

三鷹市都市再生ビジョンの位置付け



ファシリティ・マネジメントの推進



公共施設の再生・再配置に関する方針

基本的な考え方 多様化する市民ニーズに適切に対応

☆利用者の視点に立った市民サービスの提供

☆各施設の機能連携を通じた新しい市民サービスの創造

1 公共施設の継続使用を前提とした補強・改修による長寿命化を原則とする

2 施設に求められる機能や役割と財政の健全性を踏まえて対応する

3 防災拠点等については危険度に応じて緊急的に対応する

市民、UR都市機構との協働によるFM、都市再生

■三鷹駅南口中央通り東地区における「市街地再開発事業」



駅前地区の特性を活かした商業・業務機能、居住機能、駐車場機能等が集積した拠点整備に向けて、地権者でもあるUR都市機構と協働で「市街地再開発事業」による土地利用の高度化を検討

進捗状況 (平成22年度)

■協議会の取り組み

- ① 地権者の合意形成
⇒ 勉強会などを開催
- ② 施設配置、商業施設等の検討

■市の取り組み

- ① 地元の合意形成の支援
- ② 市街地再開発事業の検討
- ③ 都市計画手続きに関する東京都との調整
- ④ 公共駐輪場及び駐車場整備のあり方の検討

市民、PTAとの協働によるFM

■ 学校、保育園等建替への取り組み

三鷹中央学園
第三小学校
H23~25
建設費24.7億円
(国費26億円)

西野保育園
H19
建設費24億円

にしみたか学園
第二中学校体育館
H19
建設費41億円
(国費10億円)

中央保育園・
母子生活支援施設
H20~22
建設費6.1億円
(国費0.9億円)



南浦西保育園
H22~24
事業費
3.3億円

鷹南学園
第五中学校体育館
H22~23
建設費 37億円
(国費08億円)

鷹南学園
東台小学校
H21~22
建設費15億円
(国費45億円)



東台小学校の
完成予想図

老朽化した公共施設を集約・再配置

■ 防災公園、健康・スポーツの拠点、福祉・生涯学習の拠点に

21年度

スポーツ、健康、福祉、生涯学習など各分野の団体、審議会などとの50回に及ぶ意見交換等を重ね、「整備基本プラン（案）」を作成。パブリックコメントを経て同プランを策定。

22年度

各分野の関係者、無作為抽出による市民、公募市民で構成する検討委員会で、基本設計、管理運営の方向性などを検討

《今後の予定》

23～24年度 実施設計

25年度 着工



※検討段階のイメージ模型

- ☆ 公園部分は災害時の一時避難場所
- ☆ 平時は緑豊かな都市公園
- ☆ 災害発生時は、市の防災拠点
- ☆ 公園下部等に総合スポーツ施設
- ☆ 公園に隣接して、公共施設を集約再配置

都市再生

それは自治体の課題にとどまらない

日本国の重要課題であり

それを実現する重要な手法が

ファシリティ・マネジメント

ファシリティ・マネジメント

それは ファイトで

シアワセを

マネく取り組み

終

ご清聴ありがとうございました

<http://www.city.mitaka.tokyo.jp/>